

## 講 座 紹 介

kouzashoukai

## 外科医きたれ ～新外科専門研修制度がはじまります～

琉球大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座 (第一外科) 狩 俣 弘 幸 (12期生)

同窓会の皆様はじめまして。12期生の狩俣弘幸です。今回は第一外科の紹介をさせていただきます。第一外科は、講座名が消化器・腫瘍外科学講座で主に消化器系の腫瘍を扱う外科診療とまた乳腺疾患、小児外科診療も行っております。それぞれグループに分かれて診療をしておりますが、定期的にカンファレンスを行い、皆で意見を聞かせながらよりよい医療を目指して日々診療しています。しかし、仕事から離れると皆やさしい医師ばかりで、イベントの時には別人のように楽しい医局です。

上部消化管グループは西巻教授を中心に下地、狩俣で診療を行っております。主に食道癌・胃癌を診療しており、進行癌に対して術前・術後の化学療法や放射線治療、そして手術といった集学的治療を行うことで治療効果の向上を目指しています。また比較的早期の癌に対しては、低侵襲手術を行っており、胃癌に対しては腹腔鏡下手術を行っております。

下部消化管グループは佐村、金城が中心になって診療を行っております。主に大腸・直腸癌、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）、肛門疾患を診療しております。進行・再発大腸癌に対しては、化学療法・分子標的薬治療・放射線治療・手術療法といった様々な治療を駆使し、集学的治療を行うことで治療効果の向上を目指しています。また、低位の直腸癌やその他肛門疾患に対しては、肛門機能温存を目指した手術（括約筋温存手術、自律神経温存手術）も行っております。比較的早期の癌に対しては、腹腔鏡補助下手術を積極的に導入しております。

肝胆膵グループは白石准教授、石野が中心になって診療を行っております。肝胆膵領域の高度進行悪性腫瘍症例に対する超拡大手術に積極的に取り組んでおります。大腸癌両葉多発肝転移症例に対する二期的拡大肝葉切除（一期：原発巣切除+右門脈結紮+肝左葉部分切除、⇒二期：拡大右葉切除、右三区域切除、拡大右三区域切除）、胆膵悪性腫瘍に対する肝膵同時切除（HPD：拡大肝葉切除+膵頭十二指腸切除）、（肝門部）胆管癌に対する肝動脈・門脈同時切除再建を伴う拡大肝葉切除などの、超拡大手術をおこなっております。

乳腺・内分泌グループは國仲を中心に診療を行っております。乳癌を中心とした乳腺疾患全般の診療を行っております。乳癌は手術や放射線療法といっ

た局所治療と、ホルモン療法、化学療法、分子標的薬剤などの組み合わせで治療をします。また甲状腺癌は、おとなしいものから転移をきたすものまであり、病気の状態に応じて治療を行っております。

小児外科グループは佐辺を中心に診療を行っております。主に先天奇形疾患が対象で、新生児から主に15歳までという成長過程において身体的にも精神的にも劇的な変化を遂げる時期の疾患を扱います。そのため小児外科医が対象とする臓器・疾患は広範囲に及び、成人外科学の基礎、新生児学・小児科学・臨床栄養学等の知識、経験などが必要とされます。また低侵襲手術として、鼠径ヘルニアに対しては傷がほとんど残らない腹腔鏡手術（LPEC）を行っております。

このように5つのグループで診療しております。それぞれのグループで患者様のためによりよい医療、専門性の高い医療を目指して日々努力しております。

さて、全国的に外科医の減少がみられる昨今ですが、外科専門医制度が変わります。日本専門医機構は2017年より新専門医制度を導入するよう動いており、外科専門医制度も同様に新専門医制度になります。これは、基幹病院を中心として専門修練を行うシステムとなっており、琉球大学も第一外科・第二外科共に基幹病院として動いていく予定です。これまでは第一外科、第二外科が全く別々の修練施設で外科修練を行ってききましたが、これからはともに協力して修練を進めていくこととなります。よりよい外科修練を進めていけるよう準備しておりますので、今後、外科を志望される学生、研修医の皆さまがおりましたら一緒に外科診療をしていきましょう。よろしくお願いいたします。

